



2024年12月30日

各 位

**『地方創生×RWA』を展開する、ZoomART Foundation のプロジェクトに参画！**  
～地域資産の RWA 化とデジタル技術を活用した新たな地方創生モデル～

当社は、アート資産やコレクションアイテム等、現物資産を担保としたトークナイズ (RWA\*) を展開する ZoomART Foundation (本社: Republic of Panama、代表: Julia Martinez) と共同で、地域資産の RWA 化を実現する地方創生モデルを構築していくことを決定しましたので、以下のとおりお知らせいたします。

※RWA:Real World Asset

## 地方創生×RWA



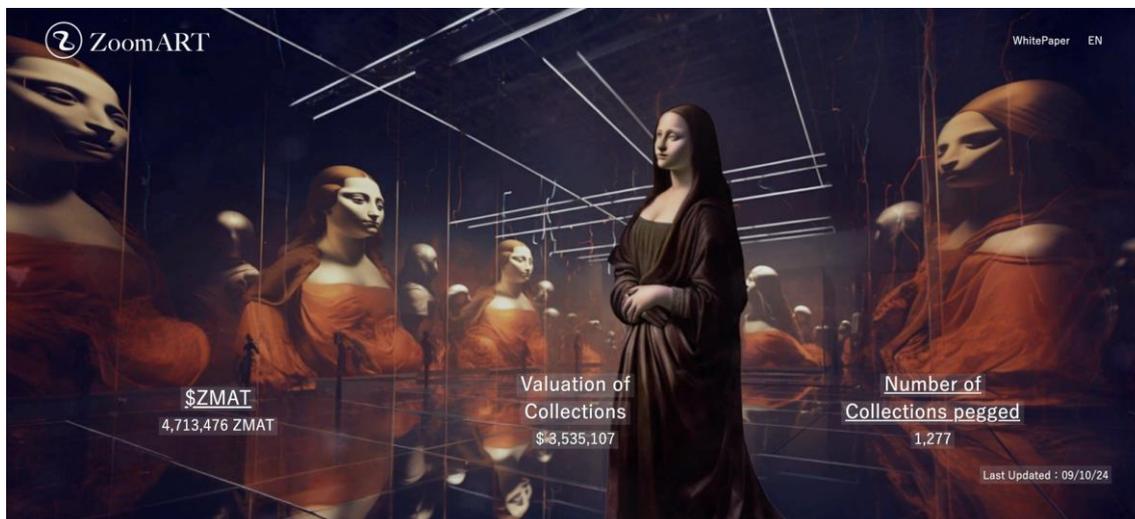
### 1. ZoomART Foundation について

ZoomART Foundation は、国内外に現存する、アート資産やコレクションアイテムを担保として RWA トークンを展開している組織です。同法人の展開する RWA トークン“ZMAT”は、既に現物資産 30 億円以上の担保価値に支えられるトークンとして大手取引所に上場しており、そのユニークなトークノミクスが市場から注目を集めております。

### 2. 『地方創生×RWA』について

ZoomART Foundation の展開する RWA トークンは、発足当初はアート資産やコレクションアイテムを中心とした担保アセットを念頭に設計されておりましたが、各所からの要望を

受け、神社仏閣を初めとする文化財まで対象を広げ、京都市東山区の寺院として著名な両足院もその一部資産を活用した RWA トークンの運用を開始しております。



ZoomART Foundation : <https://zoomart.io/>

### 3. ZoomART Foundation のプロジェクトへの参画について

当社は、不動産事業・金融事業を祖業としていることから、日本各地の不動産情報にアクセスしやすい環境にあり、地域の遊休資産を活用してほしいというニーズや相談なども受けております。一方で、改装や改築だけでは観光客誘致や本当の意味での地方創生に資する取り組みが実現しづらく、有意義な提案がしづらい状況が続いておりました。

今般の『地方創生×RWA』の取り組みは、地域でマネタイズはしづらいものの資産価値の高いアセットを RWA トークン化させ、その文化的価値を保持しながら、例えば神社仏閣の改装費を暗号通貨市場から調達し、地域ごとの特性を活かしたコレクションウェアハウスを具現化するなど、原則として文化財保有者等が大きな手出しをすることなく保有資産の流動性を高めることに強みがあると認識しております。

当社は、この ZoomART Foundation のプロジェクトの取り組みに賛同し、「これまで培った地方創生のネットワークを活かし、未来へ継承する文化財の新しい保護の形を実現したい」という強い意志のもと、今回プロジェクトに参画することを決定しております。

本プロジェクトに参加することによって、地域の遊休資産を活用提案する機会を広げていくとともに、当社グループで展開する暗号資産ディーリング事業などを通じて、ZMAT プロジェクトを継続的にサポートするための ZMAT トークンの購入と保有を実施することも視野に入れ、ポートフォリオの再構築を整備していきます。

※なお、本件が現時点において当社の連結業績等に与える影響はございません。

#### 4. 『地方創生×RWA』の対象となる資産について

当社の参画するプロジェクトにおいては、地方自治体だけでなく、個人や法人、地域団体が所有する文化資産も積極的にRWA化の対象としています。

具体例として、以下のような文化資産がRWA化の候補として検討にあがっていきます。

##### 1. 聖地巡礼スポット・エンターテインメント関連資産

- ・アニメやドラマのロケ地として注目されるスポット
- ・モニュメントや記念碑など、地域の魅力を象徴する場所

##### 2. 歴史的・宗教的資産

- ・神社仏閣（地元の伝承や歴史的背景のあるもの）
- ・修験道や巡礼道、偉人の墓地や霊廟

##### 3. 地域固有の自然遺産

- ・景勝地（文学や絵画の舞台となった場所）
- ・天然記念物（巨木、名水、珍しい地形など）
- ・温泉地や湯治場の歴史的施設

##### 4. 伝統的な建造物や生活文化資産

- ・歴史的建造物や保存が必要な古民家
- ・遺跡や古墳など、地域の歴史を物語る資産

##### 5. 伝統的な祭りやイベントの拠点

- ・山車、神輿、伝統芸能の公演会場
- ・お祭りの会場や保存施設

##### 6. 農林水産業関連の文化資産

- ・伝統的な農家や酒蔵、味噌蔵
- ・棚田や伝統漁法エリア（鵜飼漁、舟下りなど）

##### 7. 現代文化・創生のシンボル

- ・地域のアートプロジェクトやモニュメント
- ・パブリックアートや彫刻公園

これらの文化資産を、所有形態を問わず RWA 化することで、地域の魅力を最大限に引き出し、観光資源や経済基盤としての価値を高めます。

RWA の担保価値を提供してくれたパートナーには、以下のベネフィットとサポートを提供してまいります。

- (1) 資産の保護と価値向上
- (2) 観光誘致の強化による経済振興
- (3) トークン運用による収益の一部還元
- (4) 専門チームによる実行支援

## 5. RWA 導入に向けた具体的なステップについて

本プロジェクトは、ZoomART Foundation が組成・発行する RWA トークンを、世界各地の現地パートナー BizDev として担当し、各所の文化財オーナー等と協議を重ね、RWA での運用や遊休資産の活用を実現してまいります。日本国内においては、富裕層から預託されたアート資産の保有残高が 600 億円を超えるアセットマネジメント会社である、株式会社 *between the arts* が窓口となり、コンサルテーションから導入までを担当します。



### ZoomART

社名：ZoomART Foundation

設立：2023 年 5 月 4 日

代表：Julia Martinez

所在地：50th Street, P.H. Plaza 2000, Floor 17th, Panama City, Republic of Panama

事業内容：アートを中心としたコレクションをバックアセットに、トークンを発行する RWA (Real World Asset=現物資産) プロジェクト。アジアを中心とした美術倉庫などと提携をし、顧客の長期保有を目的としたコレクションを対象に NFT・トークン化を行う。

発行したトークンは、コレクションの長期的な価値向上を目的として、預入した顧客を中心に美術倉庫・パートナーなど、エコシステム全体で運用されている。

ウェブサイト：<https://zoomart.io/>

## **between the arts**

社名：株式会社 between the arts

設立：2020年1月14日

代表取締役：大城 崇聡

所在地：〒104-0061 東京都中央区銀座5丁目10-10 6F

事業内容：コレクションマネジメントプラットフォーム事業

- ・コレクション資産管理サービス「COLLET」の企画・開発・運営

<https://collet.am/>

- ・アート管理サブスクリプションサービス「美術倉庫」の企画・開発・運営

<https://bijutsusoko.jp/>

ウェブサイト：<https://bwta.jp/>

以上